

<目的>過去の災害の例からも行政機関の力だけでは大規模災害を乗り越えることは極めて困難であるため、以下の訓練を実施することで、市民、関係機関と連携した「自助」、「共助」の防災意識の醸成や、関係機関による児童生徒等に対する体験学習等を通じた防災教育活動の充実を図ります。

重点項目① 新たな開催方法による訓練の実施

課題 継続かつ充実した訓練の実施

⇒継続かつ充実した質の高い訓練の実施及び継続した防災意識を市民に働きかけるため、これまで一日に集中して実施していた訓練から、年間を通して実施する訓練に変更して実施します。

重点項目② DX 推進

課題 デジタル技術の活用

⇒デジタル技術の活用は災害対応能力の向上に寄与するものとして期待されており、災害時の情報収集・共有をはじめとした様々な場面での活用方法の検討を行います。

重点項目③ 親子三世代が楽しく学ぶ防災イベントの実施

課題 幅広い世代の防災意識の高揚

⇒「楽しい」に重点を置いた体験型の防災イベントを実施することで、若年層が防災に興味を持つきっかけを提供するとともに、市民の防災意識の高揚を図ります。

重点項目④ 防災教育の推進

課題 将来の地域防災力の担い手づくり

⇒児童生徒等が将来の地域防災力の担い手となるよう、消防団員や自主防災組織員等による講演、体験学習及び防災訓練等の年間を通じた学校教育プログラムを実施します。

訓練名	訓練場所	訓練内容	重点項目①														
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
(1) 防災システム習熟度向上訓練 重点項目②	町田市庁舎	情報伝達における指定職員の防災システム習熟訓練			→					→							
(2) 「物資調達・輸送調整等支援システム」操作・物資拠点開設訓練 重点項目②	町田市庁舎	物資調達・調達輸送システム等支援システムの習熟度向上及び物資調達拠点開設訓練			→					→							
(3) 避難施設開設運営訓練 重点項目②	各避難施設	自主防災組織、避難施設指定職員、学校関係者による避難施設開設運営訓練及び防災情報システムを活用した訓練	→														
(4) 防災フェスタ 重点項目③	町田シバヒロ	市民の防災意識の高揚を目的とした関係機関による体験コーナーの設置				7/22(土)実施	→										
(5) アウトドア×防災 重点項目③	町田第二地区 玉川学園・南大谷地区 【地区持ち回り】	まちだ防災カレッジを通じて、屋外避難用テントを活用した宿泊体験等を実施する訓練							→								町田第二地区 10月予定 玉川学園・南大谷地区9/9(土)予定
(6) 防災教育 重点項目④	市内学校	まちだ防災カレッジを通じた消防団や自主防災組織が参画する防災教育	→														
(7) 災害対策部訓練	町田市庁舎	市各対策部による災害活動訓練															→
(8) 救出救助訓練	調整中	公共施設再編等の解体建物等を活用した関係機関の連携による救出救助訓練															→
(9) 広報活動	町田市庁舎 ほか	①Twitter や Instagram 等の SNS や、まちだ防災カレッジポータルサイト等を通じた広報 ②市庁舎で開催する防災フェアにて、総合防災訓練の成果を周知	→														